

ICT活用 見守りシステム

## 業務省力化で生じた時間で機能訓練を充実

(株)アズパートナーズ (東京都千代田区)

介護付き有料老人ホーム18カ所(2019年12月時点)などを関東圏で運営する(株)アズパートナーズ(東京都千代田区)。同社では「EGAO link」と呼ぶ介護業務効率化システムを運用している。2019年12月時点で14ホームに導入済みで、2020年3月までに全ホームに配備する計画だ。

EGAO linkは、「記録入力」「安否確認」「コール対応」の3つの業務負担の軽減・効率化を目的としている。「生産性を向上させるために、これまでケアとその他の作業を分業化し、パート社員を活用する」といった対策を講じてきた。さらなる業務負担軽減のために

ICTを活用し、効果が最も見込めるのが、この3つの分野だった」と取締役兼執行役員シニアホーム運営部部長の山本皇自氏は説明する。

具体的には4社のシステムを連携・統合した。(1)安否確認など入居者の状態を把握するセンサーはパラマウントベッド(株)(東京都江東区)の「眠りSCAN」、(2)ナースコールはアイホン(株)(名古屋市中区)の「Vi-nurse」、(3)介護記録システムは(株)富士データシステム(静岡県駿河区)の「CARE KARTE」、(4)ナースコールとスマートフォンの連携システムは住友電設(株)(大阪市西区)

運営主体 (株)アズパートナーズ  
所在地 東京都千代田区  
運営施設 介護付き有料老人ホーム18カ所、通所介護16カ所など(2019年12月時点)

「ナースコールゲートウェイ」の組み合わせである(図1)。

これらをスマートフォン1台で管理できるようにした。「様々な会社の業務システムをテストして使ってきたが、この組み合わせが当社にとってベストと判断した」と事業推進部ゼネラルマネージャー兼入居相談室室長の浅見泰之氏は語る。

EGAO linkを構成する4社の機器導入を含めた初期コストは、60室のホームの場合で約2500万円、1室当たり約43万円。またランニングコストは月7万~10万円だ。

### 1日17時間の業務効率化を実現

EGAO linkは2017年2月から東京都町田市のホームで実証試験を行い、効果を検証してきた。結果、60室のホームの場合で、1日約17時間の業務効率化を実現できることが判明したという(表1)。

例えば、夜間(20時~翌7時)は同システムの導入前、3時間おきに全居室を定期巡視して入居者の状態を記録していた。導入後は眠りSCANによって就寝状況を把握できるようになったため、必要時のみに訪問する体制に変更。その結果、5時間分(定期

図1◎アズパートナーズの「EGAO link」の仕組み



巡視4回分)をカットできた。

また、介護記録はスマートフォンによる入力により、8時間から0.8時間(約50分)へ大幅に削減。「紙の書類だと複数の書類に同じ内容を転記する手間などに忙殺されるが、その手間が自動化で一切なくなったのが大きい」と山本氏は話す。

眠りSCANでは、特定の入居者の起き上がりや離床を検知して通報するなど、きめ細かくアラートを設定する機能を備えている。呼吸数、心拍などでのアラートの設定も可能だ。スムーズな運用には、この設定が鍵を握るといふ。

例えば、同社の介護付きホームの1つ、アズハイム練馬ガーデン(東京都練馬区)で、アラート機能をオンにするのは入居者数の1割前後。主に夜間に起き上がり、足元がふらつく可能性のある入居者を対象にするほか、

睡眠パターンなどを把握するために新規入居者に設定している。

「2~3割に設定すると、ナースコールが増え過ぎてしまうため、アセスメントの結果などを基に看護職員と相談しながら、どのお入居者にアラート機能を作動させるかを決めている」と、同ホームケアチーフの森田真弓氏は説明する。

### 日常のケアに機能訓練を組み込む

業務効率化によって削減でき、創出できた時間は主として、同社が「生活リハビリ」と呼ぶ機能訓練の充実に振り向けている。これは入居者の日常のケアの中で、1~2分程度、機能訓練の時間を加えるもの。例えば、食事の際などに入居者が居室からリビングに行くまでの間、歩行訓練として介護職員が見守りながら同行するという具合である。



「ICT活用で生まれた時間をケアの質の向上に充てた」と語る事業推進部ゼネラルマネージャー兼入居相談室室長の浅見泰之氏

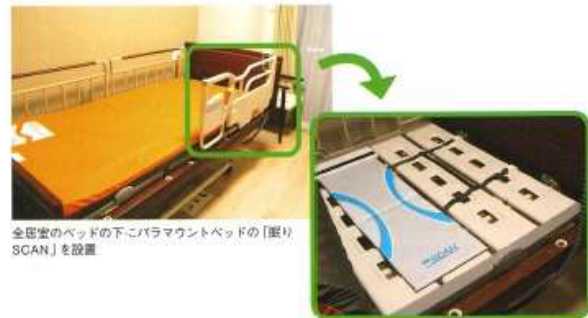


「ICTで介護記録の転記などの手間がなくなったのがありがたい」と話すアズハイム練馬ガーデンケアチーフの森田真弓氏

表1◎アズパートナーズの「EGAO link」導入による効果(60室のホームの場合)

業務内容	導入前	導入後	削減結果
介護記録	約8時間	0.3時間(約50分)	約7時間削減
定期巡視	約5時間(4回)	0時間(0回)	約5時間削減
ナースコール	約7時間30分(約150回※1)	2時間30分(50回)	約5時間削減
合計	約20時間30分	約3時間30分	約17時間削減

※1 1回3分とした場合



全居室のベッドの下にパラマウントベッドの「眠りSCAN」を設置